

学校教育

1 施策の概要

(1) 教職員の資質向上

学校教育に直接携わる教職員は、児童生徒の人間形成に極めて大きな影響を与えます。このため、学習指導の工夫・改善をはじめ、学級経営の充実や生徒指導の在り方など、教職員の資質を高め、学び続ける教師を支援するために各種研修会への積極的な参加を奨励します。

また、教育センターでは現場のニーズに応じて、

○教育センター講座…今日的な課題をテーマに、指導法や対応について学ぶ

○教育相談講座…より深い児童生徒理解を希求する

○学校教育相談研修会…児童生徒の持つ不安や悩みなど様々な問題の解決に向けて、学校が組織的に対応する際のリーダーを育成する

○小学校理科実技研修会…若手教員等を対象に、理科実験の基礎、観察のポイント、安全指導等について学ぶ

等の研修会を開催しています。

(2) 特色ある学校づくりへの支援（ドリームスクール・ジャンプ21）

保護者・地域住民から学校運営の状況についての関心が高まり、地域とともに歩む学校づくりを推進するとともに魅力ある学校教育が求められています。学校においては、児童生徒一人一人の個性や学校・地域社会の特性を生かした自主的、創造的な取組を通じ、教育活動の特色化、活性化を推進することが重要になっています。

このため、校長の裁量により、専門家を招いた授業の実施や、地域と連携したボランティア活動等の体験を行うなど、各学校のマネジメントに応じた特色ある学校経営が推進されるよう、引き続き支援を行います。

(3) 特別支援教育の推進

特別な支援を必要とする児童生徒の就学・教育活動を支援します。

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、自閉症スペクトラムなど、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導や支援を行います。

そのため、特別支援教育コーディネーター対象の研修会を開催し、特別支援教育コーディネーターの資質向上と校内組織の充実を目指します。また、特別支援教育に関して専門的な知識や経験を有した特別支援教育巡回指導員4名を教育センターに配置し、学校からの要請に応じて巡回相談を実施します。

更に、個々の障害の種別や程度に応じた適切な教育がなされるよう、特別支援学級等に在籍する

児童生徒の障害の程度や人数に応じて、養護補助員を配置しています。本年度は42名の養護補助員を24校へ配置しています。

また、通常の学級に在籍する、特別な支援を必要とする児童生徒への支援を充実するため、平成20年度から特別支援教育支援員を配置しており、本年度は22名の特別支援教育支援員を22校へ配置しています。

(4) スクールカウンセラー・小学校教育相談員の効果的な活用と充実

市内全中学校に加え、成田小学校、吾妻小学校、本城小学校、公津の杜小学校に県費のスクールカウンセラーが配置され、更に市として拠点となる小学校12校に教育相談員を配置し、児童生徒へカウンセリング等を行うとともに、教職員及び保護者への助言・援助を行う等、効果的な活用とその充実を推進します。

また、教育相談員やスクールカウンセラー、関係校教職員等からなる教育相談連絡協議会を設置し、教育相談の理論と技能を習得し、児童生徒のもつ様々な問題解決に向けての指導力の育成を図るとともに、小中連携や外部機関との連携など、効果的な教育相談体制の確立に努めています。

(5) 学校体育の充実

児童生徒が生涯にわたり心身ともに健康で楽しく明るい生活を営むための健康の保持増進や体力の向上を図ります。近年、子どもの基礎体力の低下が叫ばれていますが、本市においても、このことを重要な課題として受け止め、児童生徒が自ら進んで体力の向上を目指した体育的諸活動の充実を推進します。その指標として、第2次成田市生涯スポーツマスタープランに基づき、運動能力証の合格率を本年度30%となることを目指します。

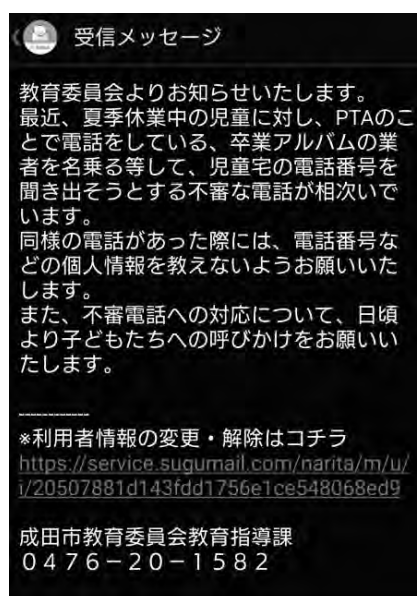
そのために、児童生徒が生涯にわたって運動に親しむための資質や能力を育むため、体育の授業の充実や教員の指導力向上を図ります。体育授業においては、優れた指導力を有する教員から指導技術を学ぶための研修会等を実施していきます。

また、小学校1・2年生体育科の「水遊び」(低学年水泳指導)の充実のために、小学校12校に体育実技指導協力者を派遣するとともに、児童の体力向上と積極的交流を図るために「成田市ロードレース大会」を開催します。

更に、運動部活動の顧問教諭による技術指導が困難な学校に対して、専門的な指導力を備えた外部指導者を派遣し、運動部活動等の更なる充実及び活性化を図ります。本年度は小中学校10校に、24名の指導者を派遣しています。

(6) 安全教育の推進

心身の発達に応じた安全教育を推進し、児童生徒の安全意識を高めるために、各校の実態に応じた学校安全計画及び危機管理マニュアルの作成、安全点検や安全に関する指導(不審者対



携帯電話へ不審者情報を配信

応訓練や避難訓練の実施、交通安全教室の開催等)の充実を図ります。

また、地域や保護者との連携を図りながら、学校内外の安全教育の充実と安全管理の徹底に努めます。なお、本市では、日本スポーツ振興センター法の共済掛金を市費で全額負担するとともに、中学生の自転車通学用ヘルメット購入費の半額を補助します。

子どもの登下校や戸外での活動の安全性を高めるために、小学校1年児童に通学用帽子とランドセルカバーを無償配布するとともに、児童及び生徒の希望者に防犯ブザーを貸与します。

また、不審者情報はなりたメール配信サービスを通じて迅速かつ正確に保護者に連絡します。

更に、関係機関や関係各課と連携を図りながら、「成田市通学路交通安全プログラム」をもとに成田市通学路安全推進連絡協議会を組織し、交通安全・防犯の両面から通学路における危険個所の改善に取り組み、より一層の登下校の安全確保を図ります。



通学路合同点検

(7) 情報教育の推進

一人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備し、特別な支援を必要とする児童生徒を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指します。

各学校に、ICT支援員や教育指導課指導主事を派遣し、学習者用端末、大型ディスプレイ、指導者用デジタル教科書等の効果的な活用について、助言・指導を行い、教職員の資質や技能の向上を図ります。

また、情報セキュリティや情報モラルについては、スマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）上のトラブルの実態とそれを防止するための指導の在り方について、警察・専門業者・NPOなどの研究団体と協力して児童生徒、保護者への啓発を図るよう、資料の提供や研修会を推進します。

(8) 学校評議員制度の活用

地域住民の学校運営への参画を得て、地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校ごとに学校評議員を委嘱しています。

学校評議員の職務は、校長の求めに応じて、校長の行う学校運営に関して意見を述べることです。学校・家庭・地域が手を携えて、より良い教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自律性を高め、校長が地域の声を把握しながら適正に学校運営を行うことを支援していきます。各学校の創意工夫を生かした取組の一層の充実を図ります。

(9) 学校施設の管理と整備

学校施設の保守点検や修繕をはじめ、老朽化や教育環境の変化に対応するための改造工事を段階的に実施します。また、バリアフリーに配慮した整備や、地球温暖化防止を視野に入れた太陽光発電の導入も進めています。

(10) 学校問題解決支援事業

学校に寄せられる様々な苦情、要望等のうち、学校の対応や取組だけでは解決が困難で、対応に法的、専門的な知識や経験を必要とする案件の問題解決を図るため、成田市学校問題解決支援チームを設置しています。

本チームは弁護士、カウンセラー、精神科医等の各分野の専門家で構成し、より高度で専門的な相談体制を確立して、児童生徒をめぐる問題等が長期化、複雑化することを防止し、解決に向けて対応することにより、学校の負担軽減を図り、学校本来の役割である教育課程や生徒指導等の推進、児童生徒と向き合う時間を十分に確保できるよう学校の支援をします。

また、いじめによる自殺などの重大事態が発生した場合に備えて、平成26年度からチーム内に「成田市いじめ専門部会」を設置しています。

2 教育センター

教育センターは、学校関係職員の研修、校内授業の支援、教育資料及び教材の収集・作成並びに活用、特別支援教育及び教育相談等の業務を行います。

(1) 学校支援の推進

教職員の資質向上のため、各種研修会の企画・運営や様々な教育関係情報の収集と提供を行います。また、教育センターだよりを発行し、本市の教育情報や成田市学力調査の結果や考察等を市内教職員で共有しています。

各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間等の書籍を整備して、図書の貸出しや教職員の様々な要望に対するレファレンスサービスを行うとともに、ラミネート機を使った教材・資料の作成等も行います。

(2) 特別支援教育の推進

担当指導主事と学校適応専門指導員が就学前の子どもを持つ保護者の相談にあたります。成田市では、「成田市心身障害児教育支援委員会」を年4回開催し、就学に関する専門的な意見を関係者からうかがいながら、保護者と就学先についての相談を行います。委員会では、就学後のフォローアップとして、必要に応じて、子どもの発達の程度や適応の状況等を勘案しながら、在学中も学びの場について関係者と共通理解をしたり見直しをしたりするなど機能の拡充を目指します。

また、通常の学級に在籍するLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）等を含めた発達障害などのある子どもたちの適応上の課題等への対応について、担当指導主事、特別支援教育巡回指導員が学校に出向き、教職員や保護者への相談・支援を行います。

医療行為等が必要な児童生徒の学校生活を支援するため、教育センターに巡回看護師を4名配置しています。

(3) 教育相談

教育センターに1名の公認心理師（1週間に1日程度）を配置し、不登校等に悩む児童生徒や保護者、教師を対象に相談活動を行います。

また、いじめや不登校、問題行動等心の問題を抱える児童生徒に対応する教師のスキルを高めるための校内研修会及び校内事例検討会等に、講師や助言者として、成田市内の精神科医又は臨床心理士を派遣します。

(4) 社会科副読本「わたしたちの成田市」等の作成、配布

児童が地域社会の一員である自覚や地域社会に対する誇りと愛情が培われるよう、小学校3・4年生の社会科副読本「わたしたちの成田市」、指導の手引き、評価テスト、白地図等の改訂作業を毎年行い、大きく発展する成田市及び周辺地域の現状に即した資料の提供をする等、地域学習資料の充実を図ります。平成22年度から隔年発行しています。

(5) 情報教育の推進

情報教育を推進するため、教育用のセンターサーバ等の運営や、学校でのICT活用を支援します。

また、情報教育関連の各種研修会の開催や各学校内での研修会の運営支援を行い、学習者用端末、タブレット、大型ディスプレイ等の効果的な活用やプログラミング教育について、学校間で事例を報告し合い、情報共有を推進するなど、教職員の資質や技能の向上を図ります。

3 教育支援センター

教育支援センターは、学校不適応等により登校できないでいる児童生徒が社会的自立に向けて学校に復帰できるよう、適応指導教室「ふれあいるーむ21」の運営を行うとともに、教育相談業務を行います。

教育支援センターでは、専任の指導主事を1名配置するとともに、8名の指導員が児童生徒の支援にあたります。また、通所する児童生徒一人一人にきめ細かく対応するため、「公認心理師」を教育支援センターに配置（1週間に1日程度）し、通所する児童生徒及び保護者に教育相談を実施しするとともに、家庭から出られない児童生徒のために、巡回指導員を配置し、家庭訪問等の支援を行います。更に、月1回程度、様々な講師の助言を受けケース会議を行い、児童生徒の社会的自立を目指します。

また、担当指導主事、指導員の学校訪問等により、各学校との連携を密にし、通所する児童生徒一人一人の学校復帰の足がかりとします。



教育センター・教育支援センター



教育支援センター「ふれあいるーむ21」

4 各学校・幼稚園の特色



成田市立成田小学校
(創立 明治6年)

児童数 715人
学級数 27学級

自主創造を合言葉に、やさしく・かしこく・たくましく生きる成小の子の育成に向けて、学校・家庭・地域が一体となり、教育活動を進めています。本年度に全国造形教育研究大会を行うことになっていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。しかし、本年度も校内の研究教科を図画工作科として研究を進め、秋には自主公開をします。

本校の特色ある活動としては、6年生がキャリア教育の一環として「キャリアトーク」を実施しています。成田中学校区の4小学校が合同で、様々な職業の方を本校にお迎えし、それぞれの職業のやりがいや工夫、苦労などを直接聞き、将来について考えます。また、成田山新勝寺の表参道が近くにあることから、参道を歩く外国人に声をかけ、自分たちが英語の時間に練習してきたフレーズを使って話をする「参道活動」を行っています。



キャリアトーク



参道活動



成田市立遠山小学校
(創立 明治35年)

児童数 58人
学級数 7学級

令和元年5月、学校林「駒の森」を通じた自然保護、環境学習において文部科学大臣賞を受賞しました。これは長年にわたり地域の方と守り育ててきた里山であり地域の誇りでありシンボルです。カタクリの花やアカハライモリに代表される動植物を生かした学習に取り組んでいます。学校教育目標「育て駒っ子 かしこく やさしく 健やかに ～ふるさとを愛し未来をたくましく切り拓く～」の実現のために、児童の豊かな人間関係づくりを基盤とし学習指導の充実を図りながら、家庭や地域と連携し、地域とともに歩む開かれた特色ある学校づくりを進めています。また、学区には成田国際空港があることから、キャリア教育や地域発展のために必要な能力を高める英語学習などのあり方を探り実践しているところです。

保護者・地域の方々には本校への関心が高く協力的です。地域の方や専門的な知識をもっている方の貴重な体験を通し、感動をもたせようとしています。



すてきな先輩シリーズ
サラブレッドとのふれあい



「駒の森」観察



成田市立三里塚小学校
(創立 昭和25年)

児童数 416人
学級数 17学級

明治24年三里塚尋常小学校として発足し、遠山小学校三里塚分教場を経て、昭和25年に遠山村立三里塚小学校として開校しました。

樹齢400年を超える「大榎」をはじめとする樹木に囲まれた自然豊かな学校で、学校教育目標は「夢に向かってがんばる子ども」です。子どもたちに「夢や希望、目標」をしっかりとめさせ、あきらめずに挑戦して「わかった・できた」という成功体験を積み重ね、「ありがとう」という感謝の気持ちを大切にしていきます。そして、子どもたちの心に残る（記憶に残る）小学校にしたいと考えています。

また、遠山地区の小中学校では、小小及び小中連携を積極的に推進しており、共通の「家庭学習の手引き」、「生活の手引き」の作成・活用や、生徒指導上の課題についての情報交換などを行っています。地域の方々とも連携を図りながら、児童の育成に力を入れています。



地域の先生をお招きして、落語の魅力を感じることができました



1年生は交通安全教室を行い、横断歩道の渡り方を学習しました



成田市立久住小学校
(創立 平成23年)

児童数 470人
学級数 19学級

学校教育目標「夢をめざし 心豊かに たくましく生きる児童の育成」のもと、「くじけず学習する子・ずっと仲よし心やさしい子・みんな元気でたくましい子」を目指して教育活動に取り組んでいます。

学区は成田市ほぼ中央に位置し、本校周辺の開発・宅地造成地区を囲むように水田地帯や畑作地帯、里山が広がる自然豊かな地域です。児童数は増加傾向にあり、本年度は1学級増の19学級となりました。保護者や地域の教育への理解や支援がとても厚く毎年、豊作や健康を願う「牛馬づくり」や「さつまいも苗植え」、「米作り体験」など、地域人材を活用し、豊かな自然の中で培われた伝統と文化を積極的に教育活動に取り入れています。本年度も、オリンピック・パラリンピックを活用した教育に取り組み、自国の文化や伝統に対する理解を図るとともに、ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育て、国際交流活動の充実・障がい者理解に努めていきます。



地域の方にアドバイスをもらいながら「牛馬づくり」を体験しました



パラリンピック・ゴールボールアジア大会の前哨戦の応援にいきました



成田市立豊住小学校
(創立 明治22年)

児童数 39人
学級数 7学級

本校の学区は、成田市の北西部に位置し、北は利根川、東は根本名川が注ぐ、緑豊かな田園風景が広がり郷土の文化や伝統が息づく歴史ある地域です。祖父母や保護者の多くが本校を母校とし、「ふれあいフェスティバル」や「地区合同運動会」等の行事では、三世代が交流するなど、学校に対して非常に協力的です。本年度、「ふるさとを愛し 共に未来を拓く 児童の育成」を学校教育目標として掲げ、小規模校の特性を生かしたきめ細かな教育を推進して、変化の時代を主体的に生きる資質・能力の育成を図ります。また、生活科及び総合的な学習の時間を中心とした研究を通して、「自ら思考し、考えを広げ深める児童の育成」を目指し、考えるための技法を活用した授業及び学習の工夫に取り組んでいます。福沢諭吉翁由来の校訓「独立自尊」の教えを体得することを本校の「不易」とし、地域との連携を一層密にして、地域コミュニティの核としての学校づくりを進めています。



ふれあいフェスティバルでは、感謝の気持ちを込めて、レクで楽しみました



室町文化体験（茶道・華道）を行い、奥深さを肌で感じ取ることができました



成田市立八生小学校
(創立 明治6年)

児童数 53人
学級数 8学級

本校は明治6年に押畑学校として開校し、本年創立147周年を迎える伝統ある学校です。学区は、成田市街の中心より北西へ約3km離れた松崎・上福田地区の台地とその大地を取り巻くように開けた大竹・宝田・下福田地区の平地地帯からなり、緑豊かな自然に恵まれています。地域住民は、学校への関心が高く、行事や奉仕活動などのボランティアにとっても協力的です。

学校教育目標「やさしく かしこく すこやかに」のもと、基本的な生活・学習習慣の確立、体力向上、家庭・地域との連携を重点目標に掲げており、全校で「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」運動を推進し、健やかな体づくりを目指しています。また、学校全体で朝読書や詩の暗唱、計算・漢字検定、なわ跳び検定に取り組んでいます。さらに、縦割り活動や地域との交流、豊住小学校と連携した社会科見学等、小規模校のよさを生かした学校づくりを実践しています。



いきいき大銀杏交流会では、昔の遊びやゲートボールなどの交流をしています



マラソン大会の後は、地域の方々の協力で、雑煮作りをしています



成田市立公津小学校
(創立 明治6年)

児童数 131人
学級数 8学級

明治6年開校の本校は、本年度創立147年を迎えました。『心豊かで自ら学ぶたくましい児童の育成』を目標に、家庭・地域との連携を図り、明るく楽しく信頼される学校づくりを推進しています。「思いやりのある子」「自分で考え進んで学ぶ子」「元気ががんばる子」をめざす児童像として掲げ、豊かな学びを支える学習環境づくりを進めています。

特に「(あ)かるいあいさつ (じ)ぶんから (さ)きに (い)おうね公津っ子」を合い言葉とする【あじさい運動】に力を入れ、いつでもどこでも自分から挨拶ができる礼儀正しい児童の育成に努めています。また全校縦割り班での運動遊びや縦割り班清掃などの異学年交流(杉の子班活動)や地域人材との交流を通じた体験学習などを計画的に位置づけ、豊かな情操や道徳心を育てる取り組みを大切にしています。



1年「ころなういるすってなに」



2年「おへそのひみつ」



成田市立向台小学校
(創立 昭和47年)

児童数 239人
学級数 13学級

成田ニュータウンの中に最初に開校した小学校で、来年度で創立50周年を迎えます。中台3・4・6丁目を学区とし、周辺には公園が点在し、緑道が整備された緑豊かで静かな環境です。保護者の学校教育への関心は高く、環境整備、防犯等に関するボランティア活動にも協力的です。学校教育目標は「新しい時代を創造する 心豊かでたくましい児童の育成」であり、合い言葉「花いっぱい・歌声いっぱい・笑顔いっぱい」のもと、239人の児童が各教科の学習をはじめ、学校行事、花の栽培、運動・音楽の課外活動等に熱心に取組んでいます。

本校は学校支援地域本部事業の推進と家庭・地域との連携強化に努め、「地域とともに歩む学校」を目指しています。子どもを真ん中に据えて、保護者・地域・職員が一体となって、子どもたちが楽しい学校生活を送れるように努めています。



花いっぱい



笑顔いっぱい



成田市立加良部小学校
(創立 昭和48年)

児童数 540人
学級数 21学級

成田ニュータウンの中心部に位置する本校は、近年発展著しい飯田町・江弁須地区及び再開発による大規模マンションが建ち並ぶニュータウンの加良部地区で学区を形成し、540名の児童が在籍する大規模校です。また、病気と闘いながら勉強している子どもたちのための院内学級が日赤病院内に設置されています。全職員の活気と連帯感に満ちた和の中で、教職員一人一人の主体性や特性が活かされる組織運営を目指すとともに、学校・保護者・地域との深い信頼と連帯の中で、子ども一人一人の「生きる力」を育てています。そして、「《夢を持ち 未来を拓く》」確かな学力を身に付け、心豊かで、健康な子どもを育てる」の学校教育目標のもとで、本年度も学校・保護者・地域が一致団結して「よく遊び よく学び よく働くからべっ子」を育てています。



千葉マリスタジアムで合唱部が
国歌斉唱をしました



PTA主催
加良部ふれあい祭り



成田市立橋賀台小学校
(創立 昭和50年)

児童数 240人
学級数 13学級

昭和50年に成田ニュータウン3校目の小学校として開校しました。橋賀台1～3丁目の集合・個人住宅に囲まれた静かな教育環境の中、碧い芝生の広いグラウンドが自慢の学校です。校舎大規模改造工事が完了し、4月から新しい校舎で新たな歴史をスタートさせました。

学校教育目標を「大きく 豊かに たくましく 生きる子どもの育成 -夢をかなえるための土台づくり-」とし、「よく考えて進んで学ぶ子」「思いやりがあり助け合う子」「丈夫でがんばりぬく子」の育成を目指しています。研究テーマを「自己肯定感を育む道德教育のあり方」とし、対話を通して物事を多面的・多角的に考え、互いの良さを認め合うことで自己肯定感を高める指導法の工夫に努めています。テーマに応じた資料を読んで、親と子で道德的価値について考える「親子で考えてみよう『道德の日』」を実施し、地域・家庭と学校で連携しながら道德的心情を育てています。



リニューアルした新校舎



3年生 親子で考えた道德授業
「光祐さんのアサガオ」



成田市立新山小学校
(創立 昭和52年)

児童数 210人
学級数 10学級

昭和52年4月に加良部小学校から分離、向台小学校の一部を借用して開校し、創立44年目を迎えました。

本年度は、児童数210人、通常学級8学級、特別支援学級2学級の合計10学級でスタートとなりました。校訓「みんななかよし丈夫に育て」のもと、学校教育目標に「夢に向かって心豊かにたくましく生きる児童の育成～やさしく かしこく たくましく 希望の登校 満足の下校の実現」を掲げ、教育活動の充実に努めています。特色ある教育活動として、思いやりリーダー性を育成するため、縦割り交流活動「すくすく班」での全校遠足、清掃、定期的なレク活動、長なわ跳び大会等、様々な取組を行っています。また、地域の協力を得て、読み聞かせ、福祉体験学習、書き初め教室、昔の遊び交流会などの体験活動の充実と豊かな心の育成を図っています。



地域の方による読み聞かせ



すくすく班活動で
長なわ跳び大会をしました



成田市立吾妻小学校
(創立 昭和53年)

児童数 818人
学級数 30学級

本校は、成田ニュータウンの西部に位置し、創立43年目を迎えました。学区周辺には多くの古墳が点在し、グラウンドにも4基の古墳があります。本校の学校教育目標である「みんな仲良く たくましく」は、子どもたちの合言葉になっており、「思いやりのある子 喜んで働く子 (徳育)」「自ら学びとる子 (知育)」「健康でたくましい子 (体育)」を育てるため、元気なあいさつや勤労・生産活動、思考力・表現力の育成、個に応じた運動や健康で安全な生活習慣の獲得に日々取り組んでいます。特に、一人一鉢運動や縦割り清掃、様々な業種のゲストティーチャーによるキャリア教育「人生の先輩から学ぼう」を通して、働く喜びや夢を育む取組をしています。子どもたちの安全を守るスクールガードあづまや吾妻・はなのき台地区青少年健全育成協議会等の地域の方々の活動も活発で、ふるさと吾妻に支えられた子どもたちが生き生きと活動しています。



「ピッコロコンサート」体育館いっぱいに
850人の歌や合奏が響きます



6年生がオリジナルの絵本を作り、
1年生に読み聞かせています



成田市立玉造小学校
(創立 昭和56年)

児童数 264人
学級数 13学級

本校は、成田ニュータウン北部の玉造1丁目から4丁目、そして公津地区八代の一部から構成されています。保護者、地域ともに教育に関心が高く、本校の教育活動に大変協力的です。

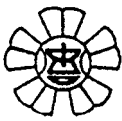
教育目標を「心豊かでたくましく生きる力を身につけた児童の育成」とし、教育活動の充実に努めています。本年度も「チーム玉造」、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進し、「やさしく・かしこく・たくましく」を合言葉としています。特に、「玉造小スタンダード」をもとに、学習のしつけや家庭学習を習慣化することで基礎基本の定着を図っています。また、LD・ADHD等通級指導教室「スマイル」を活用して、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援を充実させています。そのほか、縦割り班活動や縦割り清掃、地域の方にご協力いただき、農業体験学習やザリガニ釣り等体験学習を実施し、異学年や地域の方との交流を深めています。



5年生 農業体験 田植え



2年生 ザリガニ釣り



成田市立中台小学校
(創立 昭和57年)

児童数 175人
学級数 8学級

本校は本年度創立39年目になります。学校教育目標「かしこい子どもの育成」のもと、「勉強する子(知)」「やさしい子(徳)」「元気な子(体)」を掲げ、子どもたちの「集中・ぬくもり・清潔・秩序」ある学校生活を目指しています。本校を取り巻く教育的環境は整っており、保護者・地域の関心も高く、PTAや社会福祉協議会と連携を深めています。「あいさつ運動」「花植え活動」などを行い、また、防犯パトロールや読み聞かせボランティアのお力添えをいただき、地域と結びつく学校づくりに取り組んでいます。学校に入るとたくさんの花や緑が迎えてくれます。笑顔と元気なあいさつが交わされ、きちんとした生活態度で、授業に集中する姿が見られます。令和2年度は実施の制約がありますが、ブラスバンドの課外活動を通して音楽に親しむことで、心豊かな児童の育成にも力を注いでいます。



ブラスバンドは、運動会でマーチングパレードとしても活躍します。



日々の清掃や多くの行事で、1年から6年までの縦割り活動を行っています



成田市立神宮寺小学校
(創立 昭和60年)

児童数 174人
学級数 9学級

創立36周年を迎える本校は、成田ニュータウン北部にあり、近くには、成田スカイアクセスの成田湯川駅があります。保護者は全国各地から移り住んできていることから、新たなふるさとづくりをめざして「神宮寺祭り」「どんど焼き」などの文化活動や、各種スポーツ大会など独自の行事が定着してきました。保護者の教育的関心は高く、読み聞かせ・環境美化・リサイクル活動・防犯パトロール活動などのPTA活動も盛んです。また、隣接する成田北高校とは、先生や生徒による「おもしろ実験教室」や各運動部の生徒との綱引き練習など、交流を行っています。さらに、地域の学習ボランティアによる学習会「神小寺子屋」を毎朝開催し、学校支援事業として確立しています。このように学校と家庭、地域の連携が取れている環境の中、「心豊かでたくましく実践力のある児童の育成」の学校教育目標のもとに、「知・徳・体の調和」を図り「よく学び、よく遊べ、感動いっぱい神宮寺小」を合言葉に全教職員が力を合わせて学校教育活動に取り組んでいます。



地域の学習ボランティアの方による「神小寺子屋」が始業前に開催されています



成田北高校の陸上部の生徒が、児童の陸上朝練習の指導へ来ています



成田市立平成小学校
(創立 平成2年)

児童数 537人
学級数 20学級

本校の学区は、成田市の南西に位置し、富里市・酒々井町と隣接した並木町・飯仲地区から成り立っています。国道51号線周辺に散在する古くからの街並みと、JR線南側（富里市側）に宅地造成の開発が進んだことによる、新しい地域が混在しています。

学校教育目標を「夢を抱き たくましく生きぬく 人づくりをめざして ~知・徳・体の調和~」としました。いつでも夢や希望を抱きながら精一杯全力で頑張る児童の育成に向けて、全教職員が力を合わせて取り組んでいます。「全力でがんばる子」の育成を目指し、一生懸命努力すること、努力し続けて感動を味わわせることを目的に、運動部（陸上、綱引き）と合唱部の活動を通年行っています。また、子どもたちが夢や希望を抱きつつ、健全に成長するために地域で子どもを育て守る体制づくり（「平成小学区ゆめ協議会」本年度10年目）が推進されています。



平成塾では、作品作りや踊りなど好きな講座を児童が選んで活動しています



自分の夢をかいたペットボトルを連結し、ペットボトルツリーが完成しました



成田市立本城小学校
(創立 平成5年)

児童数 388人
学級数 18学級

本城という地区名は、この地を開発して住み着いた人々が、自分たちの本当の根城にしようという願いを込めて付けたと言われていています。地域住民の方々は地域の学校としての意識が強く教育熱心であり、学校教育に対する強い期待を持ち、協力的です。『夢と希望を笑顔で語る子どもたち』を合言葉に、一人一人の児童が充実した楽しい学校生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域の連携を密にして、学校教育目標「たくましく心豊かな子どもの育成」に努めています。本年度は、(1)心の教育、規範意識の醸成及びあいさつの実践(2)具体的な学力向上策を講じるとともに読書活動や日記の奨励と家庭学習の充実(3)体力向上と基本的生活習慣の定着の3点を重点事項として取り組んでいます。また、地域ボランティアによる「交通指導・挨拶運動」・社会福祉協議会による「福祉疑似体験」において地域との連携を図り、「昔の遊び」等の活動を通して、人間関係づくりと豊かな心の育成を図っています。



車いすって不安だね！
「福祉疑似体験」



おはじきって楽しいね！
「昔の遊び」



成田市立大須賀小学校
(創立 明治41年)

児童数 49人
学級数 7学級

本年度、学校教育目標を「未来を切り拓く かしこく 心豊かで たくましい児童の育成」とし、学校経営の重点を「確かな学力の向上」「豊かな心の涵養」「健やかな体の育成」「地域と共に歩む学校づくり」「チーム大須賀の学校力の向上」と定め、「一人一人が輝く大須賀小学校」を目指して取り組んでいます。本校の学区は、伊能、奈土地区を中心に9つのブロックで成り立ち、歴史的にも古く、特に伊能地区には由緒ある神社仏閣が点在しています。「伊能歌舞伎」は市指定無形民俗文化財であり、保存会の方から、子どもたちが歴史や所作などを学んでいます。昨年の成田伝統芸能まつりでは、4～6年児童がこども歌舞伎を披露し、11月の伊能歌舞伎公演会には、3～6年児童が参加しました。また、社会福祉協議会によるグラウンド・ゴルフ、花植体験、しめ縄作り等の行事を通して地域の方々との交流も深めています。青少年相談員とも連携を図り、昨年度は成田市青少年交流綱引き大会でベスト8に輝きました。



伊能歌舞伎公演会



地域の方と花植体験



成田市立桜田小学校
(創立 昭和32年)

児童数 93人
学級数 8学級

本校は、成田市の東端に位置し、大栄インターチェンジの近く国道51号沿いの三角屋根の時計台がある学校です。今年度をもって64年の歴史を閉じ、来年度より新たに義務教育学校「大栄みらい学園」としてスタートとなります。円滑な開校に向けて、大栄中学校や大栄地区小学校との連携を密に図っています。印旛地区公立小学校では唯一制服のある学校で、デザインを変えて大栄みらい学園にも引き継がれていきます。

本校では「心の美しい たくましい子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、学力向上・体力向上、そして豊かな心の育成に重点をおいて教育活動を行っています。

また、地域の特別養護老人ホームとの交流や、社会福祉協議会との連携による花苗植え教室、グラウンド・ゴルフ、しめ縄作りなどの行事を通して、地域の方々との交流も深めています。



スクールコンサート



大栄地区合同宿泊学習



成田市立前林小学校
(創立 明治15年)

児童数 57人
学級数 8学級

本校は、県道成田小見川鹿島港線沿線に位置し、学区の戸数は約450戸、畑作を中心とした農村地帯であり、豊かな自然に恵まれた地域です。校門近くに天にも届くような大木「あらざぎ」があります。正式名を広葉杉(こうようざん)というこの木は、本校のシンボルツリーであり、本校の歴史とともに子どもたちの伸びやかな成長を見守っています。本校の教育目標は、「夢をもち 心豊かに学ぶ 実践力のある人づくりを目指して-かしこく・やさしく・たくましく-」です。特色ある教育としては、地域の人材を生かしたサツマイモ栽培やもち米作り、全校縦割り活動などがあり、これらの体験活動を通して、子どもたちに豊かな心、実践する力などを育てています。また、「知・徳・体」それぞれに具体的な目標を設定し、年間を通して共通実践を行うことで、教育課題の解決を図ることを目指しています。



「稲刈り」(9月)
お米の先生と一緒に収穫します



「縦割り遊び」(毎月第1週火曜日)
上級生と一緒に新聞紙パズルに挑戦！！



成田市立津富浦小学校
(創立 明治6年)

児童数 82人
学級数 8学級

学校教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」のもと、ともに学び、高め合う喜びを見出すことのできる児童を育てようと努めています。また、児童一人一人の気持ちに寄り添ったきめ細かい指導を心がけ、基礎学力の定着、学びへの意欲の向上を図っています。

今年度末の閉校、また来年度の「大栄みらい学園」開校に向け、生まれ育った地域を新たな視点で見つめ直すことで、地域愛を育む教育活動に工夫して取り組んでいます。総合的な学習の時間には、成田国際空港を教材として「異文化理解」「安全」「福祉」「環境」についての調べ学習を行っています。地域の魅力を感じながら、社会の仕組みや人々の生活に興味関心がもてるよう、学びを深めています。また、縦割り班活動や学年の枠を超えた清掃活動など、異学年で協力し合い、他者に配慮しながら活動を充実させる経験も大切にしています。



みんなで仲良くしようね！
「1年生を迎える会」



地域の方との交流
「サツマイモの苗植え」



成田市立川上小学校
(創立 昭和32年)

児童数 116人
学級数 8学級

本校は成田市の東部に位置しています。学区には、畑や工場、倉庫、住宅が混在しています。学校教育目標である「学ぶ意欲が高く、心身ともに健康な児童の育成 ～明日のために、今を精いっぱい生きる子どもの育成～」を達成するために、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を心がけ、人間性豊かな児童を育てようと努めています。算数をはじめとする少人数指導、基礎学力を定着させるためのチャレンジタイム、特別支援教育、生徒指導などの推進に力を入れています。また、本物の竹を使う竹馬作りや竹馬大会は本校の特色ある行事の一つです。高学年になると竹馬を上手に乗りこなし、竹馬でリレーやサッカーもできるようになります。

本校は本年度で閉校し、来年度は義務教育学校「大栄みらい学園」として新しく開校するため、大栄地区の5つの小学校と1つの中学校で連携を推進しています。



120cmの高竹馬に
片足で乗ることもできます



全校で取り組む鼓笛隊
運動会の目玉種目です



成田市立公津の杜小学校
(創立 平成18年)

児童数 788人
学級数 28学級

開校15周年の節目を迎える本校は、学校教育目標である「未来を拓く心豊かでたくましい児童の育成」を目指して、『希望の登校、満足の下校 ～みんな仲良し、じょうぶに育て～』を教職員の合言葉にチームワークを大切にしながら日々全力で指導にあたっています。

校内研修を核に、教職員一人一人が「学ぶ意欲を高め、わかる授業」の実践に取り組み、児童の自律的な学習習慣の確立を目指しています。

スクールカウンセラーや教育相談員、特別教育支援員などの人材を生かして、教育相談体制を充実させ、より良い人間関係づくりを推進し、いじめのないぬくもりのある学校を目指しています。

学校敷地内に給食の共同調理場がある利点を生かして食育に取り組み、おいしさを感じ、おいしさをつくる力の育成と豊かに表現する力の向上を目指しています。



食育
「空豆のさやむき体験」



パラリンピック教育
「パワーリフティングの選手を招待」



成田市立美郷台小学校
(創立 平成19年)

児童数 331人
学級数 15学級

「かしこく・やさしく・たくましく～夢をかなえる土台づくり～」を学校教育目標とし、開校14年目を迎えた本年度は、目指す児童像を「学ぶことをあきらめない子」、「人も物も大切にできる子」、「よく食べよく遊ぶ子」と、より具体的に示し、教育活動に取り組んでいます。また、きれいで広い校舎や廊下、開放感のあるグラウンドや中庭に加えて、学校給食共同調理場が完成しました。

一昨年度から取り組み始めた学校支援地域本部事業により、地域コーディネーターの力をお借りし、地元の人的・物的資源の活用を図りながら「昔遊び」、「さつまいも作り」、「野菜栽培」、「車いす体験」、「米作り」、「読み聞かせ」、「ミシン指導」など多くの体験活動を充実させることができている。また、地域の方との交流を通じて優しさや感謝の心、豊かな人間性も育てています。



成田地区敬老会にて
音楽部が演奏を披露しました



地域の方と
田植え体験をしました



成田市立成田中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 513人
学級数 18学級

「豊かな心を持ち、心身ともにたくましく、自らの進路を切り拓く生徒」を学校教育目標に掲げ、『挨拶と歌声であふれる元気な学校』『子どもたちが夢を持ち、明日も行きたいと思える学校』をスローガンに全教職員一丸となり教育活動を実践しています。「元気なあいさつ」と「さわやかな歌声」が響き渡る活気ある学校づくりに向け、生徒会や委員会が中心となり子どもたちの主体的な活動を推進しています。

また、授業では、「わかる授業」「楽しい授業」のために生徒の視点に立った指導方法の工夫改善に取り組んでいます。外国語教育において、「生きた英語力」を身につけさせるため、ALTを積極的に活用したコミュニケーション能力を高める授業づくり、数学科においては、少人数やティーム・ティーチングを取り入れたきめ細かな指導方法の工夫改善に取り組み、子どもたちの学力の向上を目指しています。



ICT機器を活用した
学習意欲を高める授業



積極的なコミュニケーションを
取り入れた英語学習



成田市立遠山中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 401人
学級数 15学級

本校は、成田国際空港に最も近く文化と歴史を有した中学校です。本年度は、「目指す未来の実現に向けて、何事にも粘り強く取り組む生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、その達成に向けて教育活動を展開しています。特に、生徒の自治的活動の推進に重点を置いており、体育祭、合唱コンクールはもちろん、入学式においても生徒会代表が進行を行い、教職員と生徒が一体となって新入生を迎えています。

また、学習指導については、学力向上推進委員会を定期的の実施することにより、教科の枠を超えて教師の指導方法の工夫改善策について協議し、生徒の学力の向上を目指しています。

本校の通学区は広域で9割以上の生徒が自転車通学をしているため、本校に入学予定の児童に対して3年生の生徒が各小学校に出向き自転車の乗り方教室を行うなど、生徒が主体となった安全教育にも力を入れています。



新入生の入学前に先輩達が自転車
の乗り方を教えに行きます



表現力の向上をめざし、生徒が調べた
ことを発表し合う授業（特別活動）



成田市立久住中学校
(創立 昭和22年)

生徒数 132人
学級数 7学級

本校の学区は、成田市の中央に位置し、水田中心の旧久住第一小学区（北西部）と畑作中心の旧久住第二小学区（東南部）からなります。平成23年度の学区小学校の統合によって一小一中学区となり、小中連携教育の推進に努めています。平成29年度には校舎増築棟が完成し、最新の設備と恵まれた自然環境のなかで子どもたちは学校生活を送っています。近年、久住中央地区の宅地開発に伴い生徒数が増加し、本年度は全校生徒が132人となりました。今後も生徒が増える見込みです。純朴で素直な生徒が多く、身体を動かすことが好きであり、学校行事や諸活動に積極的に取り組んでいます。学校教育目標の「自主貢献 ～学問を修め、社会に貢献できる生徒の育成～」のもと、明るく活気に満ちた学校づくり、暮らすみんなが安心して学べる学校づくりを推進しています。



市川海老蔵さんが来校した
中学生歌舞伎講座



オリンピック・パラリンピック教育
「ボッチャ体験学習」



成田市立西中学校
(創立 昭和39年)

生徒数 497人
学級数 18学級

本校は白亜の大きな校舎、広い体育館、陸上競技場など恵まれた施設・設備のもと『文武両道 熱き西中魂』『一生懸命がかっこいい』をスローガンに掲げ、明るく元気に前向きに活動に励んでいます。また、「将来への希望を持ち、一人一人が未来を切り拓くことができる学校」を学校教育目標の一つとして掲げ、将来、社会の中で自分らしい役割を果たせるために「コミュニケーションの力」「将来を考える力」「課題を把握・解決する力」「自分を知り・改善する力」の4つの能力を身につけられるように全教育活動を通じてキャリア教育活動の推進を行っています。また、令和元年度関東甲信越地区進路指導連絡協議会 千葉大会で本校のキャリア教育の取り組みを公開しました。さらに全校道徳として外部講師を招聘し、国際理解や命の授業を行いました。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために学校行事の中止、制限があり十分な教育活動が行えない状況にありますが、この困難を地域とともに乗り越えて本校の教育目標である「たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」の具現化に向けて頑張っています。



キャリア教育の授業公開



全校道徳「命を守るために」
“自分のこととの付き合い方”



成田市立中台中学校
(創立 昭和48年)

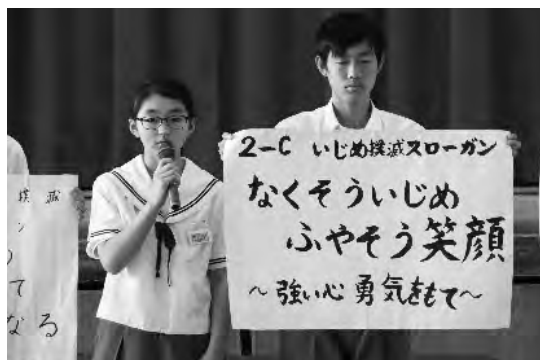
生徒数 262人
学級数 11学級

本校の生徒は、成田ニュータウンの4つの小学校区（向台小学校・中台小学校・新山小学校・加良部小学校）から通学しています。学校教育目標「自ら学び、豊かな心もち、たくましく生きる生徒の育成」を目指し、日々教育活動に取り組んでいます。

本年度は86人の新入生を迎え、全校生徒262人が自主的に取り組むことを目標に、学習に部活動に毎日頑張っています。英語検定や漢字検定等の受検者も多く、合格率も向上しています。また、体育祭、合唱コンクール等の学校行事への取組や、地域のボランティア活動への参加にも積極的で、地域で行われるクリーン作戦、敬老会、歳末助け合い街頭募金活動などに参加しています。更に、福祉教育の研究指定（H25～H27）を機に地域との密着力を強くしています。



体育祭
常に全力！！



「いじめ撲滅スローガン」
全校作成



成田市立吾妻中学校
(創立 昭和53年)

生徒数 437人
学級数 15学級

成田ニュータウンの西に位置する本校は、橋賀台地区、吾妻地区、はなのき台地区及び隣接する船形地区の一部を学区とし、春には校地を取り囲む数十本の八重桜が美しい花を咲かせる素晴らしい環境に恵まれています。今年度から全校生徒の制服が、一昨年度にデザインを変更したもので統一され、学校の雰囲気が一変しました。また、近年ははなのき台地区の開発に伴い生徒数が急増しており、2022年度が最大規模になるものと予想されています。

学校教育目標は「次代をひらき、心豊かにたくましく、生きる力を身に付けた生徒の育成」であり、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、職員一同、全力で取り組んでいます。中でも、国際性や実践的なコミュニケーション能力の基礎を身に付けた生徒を育成するために、独自の教育課程を編成し、英語授業の充実を図っています。



体育祭
応援にも熱が入る



コミュニケーション能力の育成に
力を入れている英語学習



成田市立玉造中学校
(創立 昭和60年)

生徒数 283人
学級数 11学級

本校は成田ニュータウンの北端にあり、玉造地区(1～7丁目)、八生地区の上福田・大竹・松崎及び公津地区の八代から学区が成り立っています。入学してくる生徒は、玉造小・神宮寺小・八生小の3校で9割以上を占め、本年度は合計283名で日々の学校生活を送っています。

平成27年5月に生徒総会で議決した、「挨拶・返事」、「学習」、「合唱活動」、「無言清掃」、「団結力」の「当たり前5項目」を当たり前に行えるように、日々取り組んでいます。

学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指し、本年度も次のことに取り組んでいます。

- ・本に親しみ、視野を広げ、学習意欲を高めるための朝の読書の実施
- ・ボランティア活動等、地域の活動への積極的な参加
- ・地域のボランティアの方による部活動支援及び図書室支援



サンブルーノ交換留学生との全校交流



ユネスコスクールとして校外での啓発活動



成田市立大栄中学校
(創立 昭和58年)

生徒数 227人
学級数 10学級

本校は、成田市の東部に位置する旧大栄町を学区としており、台地の中央を流れる大須賀川が利根川に注いでいます。畑作地帯が水田を取り巻く自然豊かな環境でありつつ、成田国際空港と鹿島臨海工業地域に挟まれた地域でもあります。

昭和58年に大須賀中と昭栄中が統合され、大栄町立大栄中学校が誕生しました。その後、平成の市町村合併により、成田市立大栄中学校となり、令和3年4月には学区5つの小学校と統合され、成田市で2校目の義務教育学校「大栄みらい学園」として新たな歩みが始まります。

本年度は、これまで取り組んできた小中連携の成果を基盤として、教育理念である「今までにない新しい学校を創ろう」～小学校・中学校の垣根をなくし、9か年を通してふるさと大栄を愛し、郷土として誇れる『大栄っ子』を地域とともに育てる～を合い言葉に励んでいます。



学級ごとに行った避難訓練の様子と
建設中の新校舎



三密を避けた体力づくりに励んでいます



成田市立公津の杜中学校
(創立 平成25年)

生徒数 639人
学級数 21学級

本校は、平成25年に生徒数497人で開校して8年目を迎えました。生徒数は年々増加し、本年度は639人と、市内で最も大きな規模の中学校となっています。保護者をはじめとする地域の方々の温かな支援のもと、生徒たちはのびのびと学習しています。

学校教育目標は、「未来を拓く心豊かでたくましい生徒の育成」です。《秩序と魅力のある学校》、《安心と安全のある学校》を目指し、学習や自治的活動、家庭・地域との連携による健全育成に取り組んでいます。特に生徒会活動では、日頃から自分の役割を自覚し、互いに協力し合う姿が見られます。本年度も入学式の進行を生徒が務めました。変化の中にあっても主体的に判断し行動していける生徒を育成するため、「新しい生活様式」を積極的に取り入れて教育活動の充実を図っています。



生徒が進行を務める入学式



臨時休業中の学習支援



成田市立下総みどり学園
(創立 平成29年)

児童生徒数 379人
学級数 21学級

本校は、施設一体型の義務教育学校として平成29年にスタートしました。義務教育9年間を見通し、一貫した指導方針のもと、「地域とともに夢と希望に向かってたくましく生きる下総っ子」を目標に、一人一人の子どもが着実に学力を身につけ、心身ともに健全で、豊かな人間性と社会性を発揮できる人間として成長していけるよう連続した学びを実践しています。そのために、9年間を、前期（1～4学年）、中期（5～7学年）、後期（8・9学年）の3つのブロックに分け、それぞれの発達段階に応じた学習面・生活面の目標を設定して教育活動を行っています。毎日の清掃活動をはじめ、多くの教育活動の中で異学年交流を図り、「世界一仲の良い学校」として円滑な人間関係を築き生活する様子が見られます。また、地域や高校とも積極的に連携をとり児童生徒の育成を目指しています。



1年生から9年生までの全校体育祭



5・7年生の小見川宿泊学習

成田市立大栄幼稚園
(創立 平成8年)

園児数 109人
学級数 5学級

本園は、成田市の東部に位置し、大須賀川沿いの水田地帯を望む高台にあり、自然豊かな環境に恵まれ、大栄保育園や大栄B&G海洋センター・ナスパスタジアム等の公共施設も隣接しています。園児は、大栄地区のみならず市内の他の地域からも通園しており、広々とした園庭で、日々元気いっぱい活動しています。また、園周辺の地域を利用したり、緑豊かな自然との触れ合いを大切にした保育を実施しています。「たくましく心豊かに生きる子どもの育成」を教育目標に、「明るく元気な子ども・自分のことは自分でする子ども・友だちとなかよく遊ぶ子ども・意欲がありねばり強い子ども」の育成に努めています。

本年度は、3歳児1クラス15名・4歳児2クラス4名・5歳児2クラス2名、合計21名の新入園児を迎え5クラス109名でスタートしました。保護者と連携を取りながら、園児が健やかに明るく元気に過ごせるように職員一同、より良い幼児教育に日々努めています。



ピザのトッピングは何にする？
遊びの中で協同性を育てています



吹き方を試して工夫して…
「しゃぼんだまとんだよ！」

5 学校給食センター

学校給食センターでは、学校給食を教育活動の一環として提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に資しています。

現在は本所、玉造分所、下総分所、大栄分所、公津の杜中学校学校給食共同調理場、本城小学校学校給食共同調理場、公津の杜小学校学校給食共同調理場、美郷台小学校学校給食共同調理場で給食を調理しています。

(1) 食に関する指導の充実

食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけさせ、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育むため、給食時間等の指導のほか、食に関する授業を行っています。

また、家庭教育学級や給食だよりなどを通じて情報提供を行うことにより、家庭における食育を促しています。



栄養教諭による食に関する指導

(2) 献立の充実

ア 学校給食の食事内容が、衛生的かつ安全であることはもとより、栄養バランスのとれた魅力あるものとなるよう努めています。

また、食事は調理後できるだけ短時間に適温で提供できるよう、十分な配慮を行います。

イ 献立作成及び調理にあたっては、児童生徒のし好の偏りをなくし、多様な食事内容に親しむことができるような食品の組み合わせや調理方法の工夫に努めます。

ウ 学校給食の献立作成にあたっては、食材の種類を幅広く求め、また、成田産の食材を取り入れた食事内容の充実及び摂取栄養量の確保に努めます。

エ 成田産食材の使用として、主食となる米飯は全て成田産コシヒカリを使用し、野菜についてもできるだけ成田産を使用するよう努めています。

(3) 衛生管理の推進

児童生徒を対象としている学校給食は、特に衛生管理（食中毒等の事故防止）に万全を期さなければなりません。そのため、学校給食センターでは、衛生管理体制を確立し、原材料及び調理後の食品の温度管理の徹底や二次汚染防止等に努めています。

また、職員の健康管理等を行うとともに、保健所の指導、助言を受けつつ、調理作業、衛生管理に努めています。

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

| 区 分 | 基 準 値 | | | |
|----------------------|----------------------------|--------------|----------------|----------------|
| | 児童(6歳～7歳)の場合 | 児童(8歳～9歳)の場合 | 児童(10歳～11歳)の場合 | 生徒(12歳～14歳)の場合 |
| エネルギー (kcal) | 530 | 650 | 780 | 830 |
| たんぱく質 (%) | 学校給食における摂取エネルギー全体の13%から20% | | | |
| 脂質 (%) | 学校給食における摂取エネルギー全体の20%から30% | | | |
| ナトリウム (食塩相当量) (g) | 2未満 | 2未満 | 2.5未満 | 2.5未満 |
| カルシウム (mg) | 290 | 350 | 360 | 450 |
| マグネシウム (mg) | 40 | 50 | 70 | 120 |
| 鉄 (mg) | 2.5 | 3 | 4 | 4 |
| ビタミンA (μ gRAE) | 170 | 200 | 240 | 300 |
| ビタミンB1 (mg) | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.5 |
| ビタミンB2 (mg) | 0.4 | 0.4 | 0.5 | 0.6 |
| ビタミンC (mg) | 20 | 20 | 25 | 30 |
| 食物繊維 (g) | 4以上 | 5以上 | 5以上 | 6.5以上 |

- 1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。
亜鉛……児童(6歳～7歳) 2mg、児童(8歳～9歳) 2mg、
児童(10歳～11歳) 2mg、生徒(12歳～14歳) 3mg
- 2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

(4) 地域との連携

本市の給食についての考え方や取組を伝え、実際に味わっていただくことで、給食の良さを広く市民に伝えることを目的とした「なりたの五つ星給食レストラン」を開催しています。

(5) 給食施設の整備

学校給食センター本所、玉造分所の老朽化に伴う施設の再整備にあたり、児童生徒にとってよりよい給食環境の構築を図るため、平成21年度に施設整備基本計画を、平成22年度に施設整備実施計画を策定しました。その後、平成26年度に実施計画を見直しました。この実施計画に基づいてアレルギー対応食の提供、温かい給食の提供及び食育の推進が可能となる親子方式(※)による施設の整備を進めていきます。

令和2年4月には、親子方式による4番目の施設となる美郷台小学校学校給食共同調理場の供用



美郷台小学校学校給食共同調理場

を開始しました。

また、5番目の施設となる平成小学校学校給食共同調理場の整備については、令和元年度に引き続き実施設計を行うとともに、令和2年度から令和3年度までの継続事業として建設工事を実施します。

更に、学校給食センター本所・玉造分所の再整備については、基本計画を策定するために、再整備の手法について調査を実施します。

※ 敷地に余裕のある学校に給食施設を設置し、近隣のいくつかの学校に配食する方式